



2/9 冬の里山に咲く菊の花 茶席など的高級炭として重用される一庫炭

「日本一の里山」といわれる市北部にある黒川地区の今西さん宅で、今シーズン初めての窯出しが行われました。炭の断面が菊の花びらのように見える「菊炭」。火持ちがよく消えにくいのが特徴。作業は6月初旬まで続けられます。



2/11 恒例のチャリティーバザー 国際ソロプチミスト川西がアステホールで開催

人権と女性の地位向上を高める奉仕活動を行っている「国際ソロプチミスト川西」が、市内事業者などの協力により、開催。25回目となる今回もたくさんの人が来場しました。収益金は地域社会への奉仕活動に役立てられます。



1/19 全国水泳競技大会に出場 表敬訪問で意気込みを語る

ジュニアオリンピックカップへの切符を手にしたのは、牧の台小学校3年生の小林愛莉さん。大会にはジュニア世代のトップスイマーが集います。小林さんは「自己ベストを出せるように頑張ります」などと意気込みを語りました。



1/27 市民の安全・安心に貢献 「全身全霊で職務に取り組みます」などと答辞

「市民の警察官」として、市役所で川西警察署の耳田俊夫警部補と廣瀬学警部補を表彰。市民が安心して生活できる、明るく住みよいまちづくりに日夜尽力したとして、市長から表彰状や市民の警察官章などが贈られました。



2/4 関西少女サッカー大会で優勝 2月27・28日に滋賀県で開催の全国大会へ出場

市役所を表敬訪問したのは、市立清和台・清和台南小学校のグラウンドを中心に活動している女子サッカーチーム「北摂ガールズ」のメンバー6人。「優勝したいという強い気持ちで戦います」などと全国大会への抱負を語りました。



2/4 「先輩に学ぼう！」で母校を訪問 28年「那須 BLASEN(ブラーゼン)」に移籍

市立けやき坂小学校を訪れたのは、川西を拠点とする「コラッジ川西サイクリングチーム」に所属していた下島将輝さん。後輩たちに、自転車競技用の器具を使ったトレーニングを披露したり、夢や希望を持つことの大切さを伝えました。



1/26 万が一の火災に備える 多田神社で「文化財防火デー消防訓練」を実施

文化財保護についての関心を高め、関係者の防火意識を向上させるため、国指定重要文化財のある多田神社で消防訓練を実施。消防車など5台、関係者約30人が参加し、放水や境内に設置されている防火装置の点検などを行いました。



2/2 絢爛豪華なひな飾り 大正期の和風建物、郷土館平安邸と調和

大正期に作られた、吹き抜け屋台の源氏杵を持つ内裏びなを中心とした一式や、同時期の元禄花踊りの時代人形などが郷土館に登場。毎年恒例の絢爛豪華なひな人形展は、4月3日(日)まで楽しむことができます。

県広報コンクールで特選

広報紙部門と広報写真部門(組み写真の部)
映像部門は佳作

「広報かわにし milife」10月号と同12月号38～39ページ掲載の組み写真が、第63回県広報コンクールで特選に選ばれました。

同コンクールでは、27年間に発表された広報媒体のうちから提出のあった作品を審査。総計78作品の中から、広報紙・写真・映像の部で選考されます。

特選に選ばれた2作品とウェブサイト、広報企画は全国広報コンクールへと推薦されます。

なお、映像部門では、市のPR動画「見て！魅て！かわにし」のコンテンツ「のせでんアートライン妙見の森 2015～人と人 人と地域 地域と地域をつなぐ～」が佳作に選ばれました。

10月号 広報紙部門

12月号 写真部門

【講評】(抜粋)
広報紙部門 黒川地区の里山にスポットを当て、今後を考える特集はハイレベルな展開。「生命の輪」という美しい表紙。ARも駆使し、黒川の将来に関わってほしいという願い、祈りが伝わってくる。
組み写真部門 写真の力を存分に引き出す紙面になっている。小さな写真でも担ぎ手の表情をアップで切り取ったり、写真の向きも見開き紙面を意識した“憎い”出来になっている。



1/23 身近な誰かを救うノウハウを学ぶ 実技講習の第一歩

多くの人に救命手当の方法を知ってもらい、その重要性を広められるようにとアステ川西で「Push! Push! Push! ひろめよう救命の輪 in かわにし」を開催。約100人が参加し、実技を通して心肺蘇生法やAEDの使い方を学びました。



2/12 地域を見守る強い味方 多田東小学校で出発式

多田東コミュニティ協議会が日本財団の助成を受けて青色回転灯装備車、通称「青パト」を導入。月～金曜日に地域を巡回するなど、防犯や子どもの見守りのほか、災害時にも活躍します。